

Vol.29
梅の部屋
in sakura

修学旅行

こんにちは。

今月の初めは台風が通過し、夜は強い風が吹いていましたが、皆さんのご自宅では被害などなかったでしょうか。我が家は特に被害はありませんでしたが、それでもあまり眠れない夜を過ごしました。

台風が過ぎ去った9月7日に、古賀市立古賀中学校の受け入れを行いました。当初は2日間朝倉で過ごす予定でしたが、台風の影響で1日だけの受け入れとなりました。

各家庭に行った生徒たちはそれぞれ、様々な体験をしたようで、ある家庭では栗拾いやブルーベリーの収穫をしていました。

栗一つ拾うのでも大騒ぎで、見ている側は栗の上で転んでしまうのではないかとハラハラしていましたが、本人们は普段できない体験を本当に楽しんでいる様子でした。



3年間お世話になりました。

うめ

食事の後は、古賀市の紹介をした生徒手作りの紙芝居を見せてくれたり、特技の歌を披露してくれたりと、積極的に受入家庭の方と交流をしているようでした。台風の影響で一部できない体験もありましたが、それでも生徒たちや受入家庭の方々も楽しめたようで、本当に良かったです。

ありがとうございました

さて、約3年に渡って掲載してきました「梅の部屋」ですが、今回で最後の更新になります。最初の掲載から今回で29回目になります。振り返ってみるとあっという間の3年間でした。

朝倉に来てすぐに新型コロナウイルスが流行してしまい、暫く農泊での教育旅行受け入れができない時期もありました。3年目からは受け入れもできるようになり、子どもたちや受入家庭の方々を楽しそうにしている姿を見れた時は、本当に嬉しく感じました。

最初は不安に感じることもありましたが、今では本当に朝倉にきてよかったです。

私のことを受け入れてくださった朝倉の方々には感謝の気持ちしかありません。これからも出会う人に朝倉の良さを伝えていきたいです。

本当にこの3年間、ありがとうございました。

それでは今回はここまで。
またいつか。



体験型教育旅行 受入れ家庭大募集



農村体験・農村民泊の受入れ家庭を募集しています!!

朝倉グリーンツーリズム協議会では、都会の子ども達や住民の方々に「朝倉での暮らしや人との触れ合い」を通して「あさくら」の魅力を伝え、地域の活性化に繋がるよう活動をしています。

現在は国内の小学校、中学校、高校の教育旅行や体験の受け入れを積極的にを行っています。近年では「日本の生活や文化を学びたい」ということで海外の学生さんや個人でいらっしゃる方も増えており、国際交流の場にもなっています。

そんな活動をしている協議会ですが、現在の受入れ家庭軒数では対応しきれない場合もあり、朝倉に來たいと言ってくれる方々をお断りしているケースも多々あります。

そこで、朝倉グリーンツーリズム協議会では農業体験や農村民泊を受け入れていただける家庭を随時募集しています。

是非、受け入れを通して「あさくら」の魅力と一緒に発信していきませんか？



受け入れに関してよくある質問

Q. 具体的に体験ってどんなことをしたらいいの？

A. 家庭によって様々ですが、例えば以下の体験があります。

- ・料理
- ・野菜の種まき
- ・野菜の植え付け
- ・野菜の収穫
- ・苔玉作り
- ・生き物の観察
- ・味噌づくり
- ・歴史散策
- ・庭の手入れ
- ・しめ縄作り

普段の何気なくしていることが、子どもたちにとってはとても素敵な体験になるんです！



Q. ボランティアなの？

A. 受け入れて頂いた場合は、受入れ家庭に謝礼をお支払いします。

【例】中学生3名を受け入れた場合(一泊二日二食・半日農業体験付)
5,400×3人＝16,200円

※食材や寝具等は受入れ家庭でご準備ください。

Q. 農家じゃないけどいいの？

A. 農家でなくても問題ありません！普段と違う生活を送ることが立派な体験となります。家で農業体験ができない場合は、近隣の受入れ家庭との連携等を協議会で調整させて頂きますので、ご相談ください！

問い合わせ先

農村体験・農村民泊に少しでも興味のお持ちの方は、是非ご連絡ください！

電話..0946・24・6758